

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第14回相模原市在宅医療・介護連携推進会議				
事務局 (担当課)		地域包括ケア推進課 電話042-769-9249(直通) 地域医療課 電話042-769-9230(直通)				
開催日時		令和2年1月29日(水) 午後7時30分～午後8時30分				
開催場所		ウェルネスさがみはら 7階 視聴覚室				
出席者	委員	19人(別紙のとおり)				
	事務局	14人				
	その他	3人				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 議 題 (1) 市在宅医療・介護連携推進会議設置要綱の一部改正について (2) 市からの報告 ・九都県市首脳会議への提案について ・健康福祉局の組織改編について ・第8期相模原市高齢者保健福祉計画について (3) 各部会の報告 ・連携体制等に関する部会について (4) 市在宅医療・介護連携市民講演会について (5) 市在宅医療・介護連携事例等発表会について (6) 在宅療養パンフレットについて (7) 在宅療養連携ケースモデル事業アンケート結果(暫定版)について 3 そ の 他 4 閉 会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

2 議題

(1) 市在宅医療・介護連携推進会議設置要綱の一部改正について

資料をもとに事務局から説明を行った。

(2) 市からの報告

・九都県市首脳会議への提案について

資料をもとに事務局から説明を行った。

- 高齢者の定義は何歳以上か。

65歳以上としている。

- 救急搬送の数が増加しており、今後も増加が見込まれる。これらの対策をとることだが、現時点で具体的な課題は何か。受け入れ先の病院において患者の医療情報がよくわからないのか、認知症の方の搬送が多くてその方の情報がとれないのか、または、死亡率が上昇しているのかなど、どのようなことに対処するために高齢者向け住まい・施設からの救急搬送等の実態を調査していくのか。具体的なことがあれば、医師会としても協力していきたい。

本市における課題については、住まいから救急、介護施設から救急、そしてそれらを受け入れる医療の現場、それぞれの場面で情報がうまく伝達されないことや、救急要請をする際にそれが適切なのだろうかなど様々な課題があると認識している。相模原市だけではなく、広範囲にわたる課題なので、市だけで解決しようということではなく、九都県市で課題共有をして、国に対しての要望事項を検討していく。

- 相模原市も救急隊や搬送先において、蘇生措置や高度な救命処置の実施に対する本人や家族の意思の把握について困っていると思われる。今年度、「人生会議」をテーマにした多職種研修の講師を務めたが、意思決定支援の問題など、具体的なことがあったら、医師会も協力するので教えてほしい。

- 九都県市首脳会議の進捗については、この在宅医療・介護連携推進会議において注視していきたいので、今後も情報提供してほしい。

今後も報告させていただく。

・健康福祉局の組織改編について

資料をもとに事務局から説明を行った。

- 訪問看護ステーション管理者会において災害時にどのように活動したらよいのかを勉強するために、講師を探している。自治体によっては、災害医療コーディネーターを配置しているところもあるが、相模原市では災害時の医療に対し、どこに相談したらよいのか。

災害医療の関係については地域医療課が担っている。次年度からは保健衛生部の医療政策課が担当になる。相模原市では災害医療コーディネーターを市医師会と北里大学にお願いして配置している。

- 市の財政が厳しい折、皆で協力していかなくてはならないが、この会議は今後トレンド化する重要な分野なので、組織改編によってスリム化されることがないようにしてもらいたい。

・第8期相模原市高齢者保健福祉計画について

資料をもとに事務局から説明を行った。

- 昨今、看護職員も集めるのが大変な状況にあるが、介護人材の確保、育成も苦慮されていると思う。市町村によっては外国の方の活用も図っている。施設の整備も必要だが、介護人材のことも計画には載ってくるのか。

介護人材の確保、定着、育成も施策として重要視している。具体的な内容も含めて計画に盛り込んでいく。

- 高齢者保健福祉計画には、看護職のことも掲載されるのか。

介護施設職員に対する就労意識調査では、幅広い施設に対し、どのような人材がいるのか調査している。介護人材については、介護施設やサービス提供において、多職種の方々が関わっており、看護職も含まれる。

- 相模原市高齢者福祉施設協議会では、特別養護老人ホームとデイサービスにおいて経営実態調査を実施した。調査結果は市に報告している。特別養護老人ホームも整備が急速に進み、待機者が少なくなってきた。整備計画の中に、現在の特別養護老人ホームや公的資金の投入されている社会福祉法人が運営する施設の経営実態なども、考慮したうえで、計画の策定をお願いしたい。

第7期計画においても施設の目標数を掲げている。実際の待機者がどのくらいいるのかなど、高齢者の今後の推計もしっかり予測しながら策定していく。

(3) 各部会の報告

・連携体制等に関する部会の報告

資料をもとに佐藤部会長による部会の報告が行われた。

(4) 市在宅医療・介護連携市民講演会について

資料をもとに事務局から説明を行った。

(5) 市在宅医療・介護連携事例等発表会について

資料をもとに事務局から説明を行った。

(6) 在宅療養パンフレットについて

資料をもとに事務局から説明を行った。

- P13に「在宅療法」と表記があるが、一般的ではないのではないかと。

「在宅医療」に訂正する。

- 在宅療養に対して、全く予備知識のない方が手にとって、大体のことがわかるパンフレットになっている。今後は事務局に一任する。

(7) 在宅療養連携ケースモデル事業アンケート結果(暫定版)について

資料をもとに事務局から説明を行った。

今回の大野中地区でのモデル事業では、当初予定していたよりも利用者アンケートの回収数が少なかった。サンプル数を増やすことと、環境の異なる地域での調査を目的に、令和2年度に緑区の山間部において新たなモデル事業を実施する。

3 その他

特になし

4 閉 会

以 上

(別紙)

令和元年度 相模原市在宅医療・介護連携推進会議 委員名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	伊勢田 明子	相模原市医療ソーシャルワーカーの会		出席
2	井出 道也	一般社団法人相模原市医師会	会長	出席
3	臼井 意	さがみはら介護支援専門員の会	職務代理 1	出席
4	大塚 小百合	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会	職務代理 2	出席
5	金子 智代美	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会	副会長	出席
6	木村 久美子	公益社団法人相模原市薬剤師会		出席
7	佐藤 隼	相模原地区訪問リハビリテーション連絡会		欠席
8	澤野 将文	相模原市介護老人保健施設協議会		出席
9	田代 真士	相模原市小規模多機能型居宅介護事業者連絡会		出席
10	田中 雄一郎	公益社団法人相模原市歯科医師会		出席
11	谷 えみ子	高齢者支援センター（地域包括支援センター）		出席
12	中野 太郎	公益社団法人相模原市病院協会		出席
13	早田 栄	高齢者支援センター（地域包括支援センター）		出席
14	久松 信夫	学識経験者（桜美林大学）		出席
15	比留間 由美子	相模原市訪問看護ステーション管理者会		出席
16	廣瀬 憲一	公益社団法人相模原市病院協会		出席
17	水上 潤哉	一般社団法人相模原市医師会		出席
18	八木 克介	相模原市認知症高齢者グループホーム連絡会		欠席
19	吉岡 深雪	高齢者支援センター（地域包括支援センター）		出席
20	渡辺 加代子	公益社団法人神奈川県看護協会相模原支部		出席
21	佐藤 聡一郎	連携体制等に関する部会	部会長 1	出席

(敬称略、50音順)

- 1 連携体制等に関する部会
- 2 高齢者救急に関する部会